

令和5年度

事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

# 令和5年度事業報告

3年以上の長期にわたり県民生活に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、令和5年5月に「2類相当」から「5類」に移行され、社会経済活動がようやくコロナ禍前の状況に戻りつつある中、急速な高齢化の進展、疾病構造の変化等、県民の健康を取り巻く環境は大きく変化し、健康づくりに対するニーズもより一層多様化している。

こうした中、健診事業では、引き続き感染防止対策を徹底しつつ、受診者の視点に立った健康診断・保健指導事業を実施するとともに、啓発事業では健康づくり実践活動の支援や疾病予防等の普及啓発等、効果的な情報を発信する等、「県民の総合的な健康づくりのパートナー」を目指して、兵庫県や関係団体と連携のもと、県民の生涯にわたる健康づくりを積極的に推進した。

## 1 健康づくり実践活動の支援

個人の努力とあわせて社会全体で健康づくりを支援する「健康ひょうご21県民運動」を推進するため、参画団体や健康づくり推進員等と協働し、健康づくりの基盤となる健康チェックの実践、生活習慣の見直し等の健康づくり運動を県内全域で展開した。

また、企業の従業員や家族及び幼稚園等の幼児や保護者への啓発事業を展開し、県民総ぐるみの健康づくりを推進した。

## 2 疾病予防等の普及啓発

県民の健康づくりに関する有用な情報や、財団の事業内容を広く県民に紹介するため、広報紙「プレベ」やホームページによる広報活動を実施した。また、がん・生活習慣病講演会を開催したほか、DVDの貸出し及びポスター掲示やデジタルサイネージ広告によるキャンペーン事業等の啓発活動を行うとともに、健康づくりや疾病予防の各分野における功労者の表彰を行った。

また、がん等の医療に携わる専門職が行う研究を奨励し、医療技術の向上の支援に努めた。

## 3 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

受診者の視点に立った「安全・安心でかつサービスの行き届いた健康診断」を提供するため、健診精度の維持・向上やリスクマネジメントに努めつつ、県内全域で健診事業・保健指導事業を実施した。

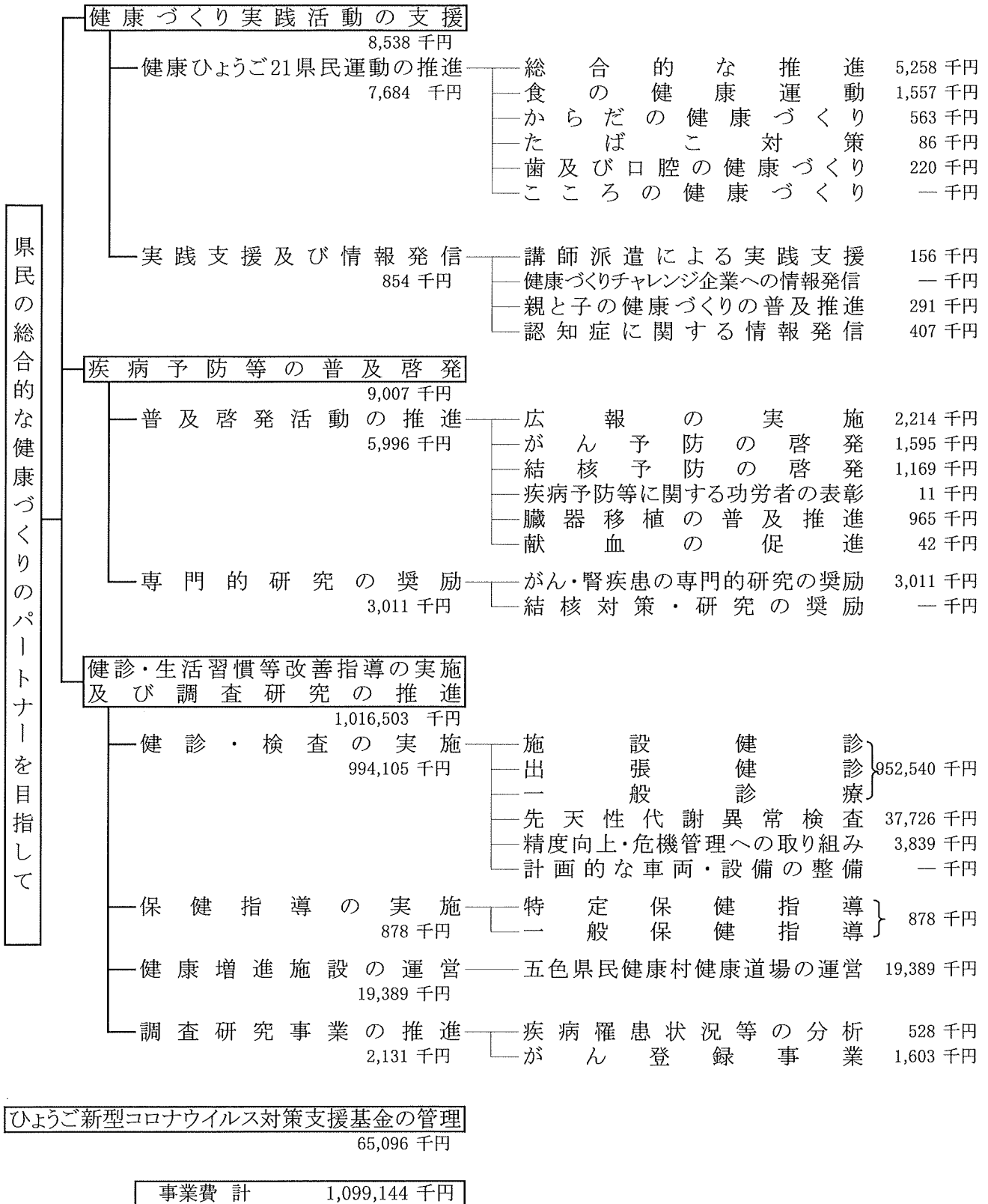
また、五色県民健康村健康道場では、感染防止に努めつつ、県民のこころと身体

の健康づくりを支援する実践施設として事業を実施した。

さらに、県内の公衆衛生の向上に寄与するため、健診や生活習慣改善指導事業等の実施状況及び精密検査受診者の追跡調査により得られたデータを集計し、「事業年報」として情報発信するとともに、県内のがん罹患情報を収集し、兵庫県のがん予防対策の基礎資料として活用を図った。

# 令和5年度事業体系

(人件費・減価償却費を除く)



# I 健康づくり実践活動の支援

## 1 健康ひょうご21 県民運動の推進

### (1) 総合的な推進（県補助事業）

#### ① 健康ひょうご21 県民運動推進会議総会等の開催

ア 総 会 令和5年5月（書面開催）

イ 合同会議 令和6年3月（書面開催）

#### ② 健康ひょうご21 県民運動推進フォーラムの開催

開催日・場所	内 容	参加人数
5月30日(火) 神戸市産業 振興センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり等に関する表彰</li> <li>実践「手や体を使って楽しくアイスブレイク」 講師 特定非営利活動法人 兵庫県レクリエーション協会 常任理事 吉川 義樹 氏</li> <li>講演「腸内フローラから考える健康長寿戦略」 講師 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 内藤 裕二 氏</li> </ul>	206人

#### ③ 健康ひょうご21 県民運動地域会議総会

地 域	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	7月6日(木) 西宮市民会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「食べて元気に健康長寿～オーラルフレイル予防～」 兵庫県歯科医師会 山川 達也 氏</li> </ul>	77人
阪神北	7月10日(月) いたみホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「with コロナ時代の認知症予防」 医療法人敬愛会三田高原病院 医師 舟川 格 氏</li> </ul>	84人
東播磨	7月6日(木) 加古川総合庁舎	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「新型コロナウイルスとこころの健康」 兵庫県精神保健福祉センター所長 柿本 裕一 氏</li> <li>情報提供「大麦を食べて健康に ～東播磨は西日本有数の大麦の産地です～」 加古川農林水産振興事務所 松盛 巧 氏</li> </ul>	93人
北播磨	7月5日(水) 西宮市市民交流 施設オナホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「食べる順番と食べる時刻が健康長寿のカギ!! ～食べ方で生活習慣病・認知症を予防しよう～」 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 特任教授 今井 佐恵子 氏</li> </ul>	94人
中播磨	7月3日(月) 姫路市医師会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「身体が心が嬉しくなるウェルネス」 (一社)ウェルネスネットワーク 理事 柳本 有二 氏</li> <li>情報提供「食の健康について」 中播磨健康福祉事務所 管理栄養士 藤田 志保 氏</li> </ul>	72人
西播磨	6月29日(木) たつの市新宮ふ れあい福社会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「シニア世代の健康と体重の気になる関係」 大阪公立大学大学院 生活科学研究科 教授 由田 克士 氏</li> </ul>	120人
但馬	7月13日(木) 兵庫県立 但馬長寿の郷	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「今日からはじめるアクティブライフ －健康づくりのすすめ－」 神戸大学名誉教授 山口 泰雄 氏</li> </ul>	57人
丹波	6月22日(木) 丹波の森公苑	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演「今日からはじめるアクティブライフ －健康づくりのすすめ－」 神戸大学名誉教授 山口 泰雄 氏</li> </ul>	80人

淡路	7月6日(木) 洲本総合庁舎	・「人生後半を生き抜く智慧 ～健口こそが健康寿命と幸福寿命を延ばす～」 大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学分野 教授 天野 敦雄 氏	90人
計		9地域	767人

※各々、講演後に全員で健康体操を実施。

#### ④ 健康づくり推進員の設置・養成

##### ア 健康づくり推進員の設置・養成

健康づくりの担い手を養成するため、県民運動参画団体から推薦を受けた人を対象に「健康づくり推進員支援ガイド」を活用した研修等を実施し、修了者に健康づくり推進員を委嘱した。

・健康づくり推進員 1,564人（うち、新任者数153人） R6.4.1現在

##### イ 健康づくり推進員フォローアップ研修会等の開催

健康づくり推進員の資質向上を図るとともに、活動に関する意見交換や推進員相互の交流を促進するため、フォローアップ研修会等を開催した。

#### 【全県】

開催日・場所	内 容	参加人数
9月26日(火) 神戸ポートピアホテル	「がん・結核セミナー」 ・講演「生きる力～がん、ステージ4からの生還～」 フリーアナウンサー、元フジテレビアナウンサー 笠井 信輔 氏 ・講演「結核と新型コロナ 一違うところと似ているところ」 兵庫県保健医療部次長兼感染症等対策室長 田所 昌也 氏	278人
10月12日(木) 神戸ポートピアホテル	・講話「世界に学ぶ賢食術で健康寿命は延ばせる」 健康ひょうご21県民運動推進会議会長 家森 幸男 氏 ・ランチタイム「世界の長寿食から学ぶ うま味と栄養しっかりの乾物をフレンチで味わう」 解説 ポートピアホテル総料理長 岸本 貴彦氏	59人
2月9日(金) 兵庫県医師会館	「がん・生活習慣病講演会」 講演Ⅰ「健康長寿でいるためのコツ ーフレイルと認知症は予防できるー」 兵庫医科大学医学部 総合診療内科学 主任教授 新村 健 氏 講演Ⅱ「『身近ながん』あなたはどうする？ ～聞いて！知って！実践して！～」 兵庫県立がんセンター 院長 富永 正寛 氏	207人
計	3回	544人

#### 【地域】

区分	開催日・場所	内 容	参加人数
阪神南	11月9日(木) 尼崎商工会議所	・講演「アフターコロナにおけるこころの健康」 兵庫県精神保健福祉センター 臨床心理士 公認心理師 中谷 恭子 氏 ・情報提供「結核とCOPD（慢性閉塞性肺疾患） の基礎知識」 芦屋健康福祉事務所 保健師 山田 穂乃佳 氏	59人

阪神北	11月27日(月) ピピアめふ 和風ホール	・講演「自立した暮らしを支える食生活～手軽でおいしく、健康に～」 一般社団法人兵庫栄養振興会理事 深澤 譲 氏	67人
東播磨	12月7日(木) 明石市立文化 博物館	・講演「認知症・フレイル予防のための脳トレ・体操 ～健康寿命を延ばしませんか?～」 柔道整復師 鍼灸師 外林 雅夫 氏 ・情報提供「お酒と健康 ～お酒との上手な付き合い方～」 加古川健康福祉事務所 地域保健課 保健師 大鼓 菜月 氏	55人
北播磨	2月7日(水) 兵庫県社総合 庁舎	・講演「認知症予防を目指して今すべきこと」 神戸大学院保健学研究科・医学部保健学科 教授 神戸大学大学院保健学研究科 認知症予防推進センター長 古和 久朋 氏 ・情報提供「たばこと COPD～あなたの肺は大丈夫ですか～」 加東健康福祉事務所 地域保健課 保健師 森山 志保 氏	68人
中播磨	11月10日(金) 市川町文化セ ンター	・講演「今日から始める・備える口腔ケア」 医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科口腔外科部長 足立 了平 氏 ・情報提供「結核について」 中播磨健康福祉事務所 保健師 伊藤 結衣 氏	66人
西播磨	11月8日(水) 太子町文化会 館あすかホー ル	・講演「食べて元気に健康長寿 ～オーラルフレイル予防 ～」 養父市国民健康保険大屋歯科診療所 所長 砂治 國隆 氏 ・講演「基本の歯みがき」 兵庫県保健医療部 健康増進課 歯科衛生士 岩下 亜未 氏 ・情報提供「タバコ病-COPD-から身体を守る」 龍野健康福祉事務所 保健師 美作 健太 氏	97人
但馬	11月7日(火) 兵庫県立但馬 文教府ふるさ と交流館多目 的ホール	・講演「笑う門には健康が来る～笑い与健康～」 近畿ブロック障害者スポーツ指導者協議会 会長 天満家 新笑 氏 ・情報提供「但馬の結核事情について」 朝来健康福祉事務所保健師 岸野 仁美 氏 ・講話「歯と口の健康づくり始めましょう!『健口生活』」 兵庫県保健医療部 健康増進課 歯科衛生士 山内 千代 氏	74人
丹波	11月10日(金) 丹波の森公苑	・講演「食べて元気に健康長寿!～オーラルフレイル予防 ～」 養父市国民健康保険大屋歯科診療所 所長 砂治 國隆 氏 ・講話と実践:「始めましょう お口の筋力アップ」 歯科衛生士 小前 みどり 氏	54人
淡路	10月5日(木) 洲本総合庁舎	・講演「人生100年時代を健口に生きる! ～お口のお手入れ方法を知って、年齢に負けない 健康なからだ作りをしませんか?～」 神戸常盤大学 教授 高橋 由希子 氏	78人
合計 9会場			618人

※各々、講演後に全員で健康体操を実施。

ウ 健康づくり推進員による実践活動

健康づくりの普及や実践活動を展開したほか、幼児の保護者等に対する調理実習など、食の健康運動の推進活動を行った。

内 容	取組件数	延参加人数
健康づくりの普及・実践活動	32,313 件	363,614 人
食の健康運動	2,204 件	52,166 人

⑤ 参画団体の活動支援

健康マイプラン実践講座

健康づくりの講演会や研修会等に登録講師を派遣し、参画団体等における健康づくりの実践を支援した。

派遣回数	参加人数
66 回	4,087 人

(2) 食の健康運動の推進

① 食の健康運動リーダーの設置

健康づくり推進員の中から「食の健康運動リーダー」を委嘱し、食の健康運動を推進した。

② 食生活改善事業の実施（働き盛り世代への SNS を使った情報発信）

「働く人の簡単ヘルシーごはん」と題し、健康テーマに応じた料理レシピや調理方法、栄養のポイントの他、季節に応じた健康情報等を定期的にInstagramで配信した。

③ 食育コンサートの開催

幼稚園・保育所等の幼児や保護者等を対象に、「大豆のうた」や踊り等を通じて、規則正しくバランスのとれた食生活の大切さ、野菜や大豆摂取の重要性などを啓発するとともに、歯みがき指導による歯及び口腔の健康づくりの普及・啓発を実施した。

地 域	開催日	実 施 団 体	参加人数（人）		
			園児等	保護者等	合計
本部	10月24日	神戸市立たまつ幼稚園	102	28	130
阪神北	1月15日	三田市立三輪幼稚園	43	9	52
阪神北	9月22日	伊丹市立こうのいけ幼稚園	41	4	45
東播磨	11月30日	播磨町立播磨西こども園	91	17	108
北播磨	10月18日	社会福祉法人認定こども園 高岡育児園	53	15	68
中播磨	1月17日	安室保育園	92	12	104
西播磨	10月13日	たつの市立新宮こども園	112	23	135
西播磨	10月2日	幼保連携型認定こども園 陽光こども園	96	23	119

但馬	10月27日	新温泉町	97	15	112
丹波	9月1日	認定こども園 あおがき	118	30	148
丹波	10月20日	認定こども園 わだ	92	23	115
淡路	10月31日	洲本市五色すこやか子育てセンター・洲本子育て学習センター	116	86	202
計	12回		1,053	285	1,338

### (3) からだの健康づくり（県補助事業）

メタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの予防及び運動の習慣化を促進するため、今より10分多く毎日からだを動かす+10分（プラス・テン）、「脱”座りすぎ生活”」の啓発等を図った。

学習会開催回数	参加人数
21回	1,745人

### (4) たばこ対策

妊産婦への喫煙防止並びにこども等への受動喫煙防止の啓発、喫煙の影響が大きい COPD（慢性閉塞性肺疾患）やたばこの発がん性に関する正しい知識の普及を図った。

研修会開催回数	参加人数
10回	769人

### (5) 歯及び口腔の健康づくり（県委託事業）

各種講演会や啓発資材の配付等を通じて、乳幼児期・学齢期・成人期・高齢期のう蝕予防や歯周病予防、歯の喪失防止に向けた8020運動を推進した。

研修会開催回数	参加人数
8回	615人

### (6) こころの健康づくり

コロナストレスやこころの不調の予防、認知症予防、適切な睡眠促進等のための講座等を実施するとともに、健康ひょうご21ポータルサイトにおいて認知症予防に関する情報を新たに掲載した。

分野	実施回数	参加人数
メンタルヘルス等	9回	608人
認知症予防関連	16回	1,048人

## 2 実践支援及び情報発信

### (1) 講師派遣による実践支援

市町、団体、事業所等が実施する健康づくり講習会や教室等に、健康運動指導士、管理栄養士、保健師等の健康財団の専門スタッフを派遣し、健康づくり活動を支援した。

派遣回数	指導延人数
22回	1,174人

### (2) 認知症に関する情報発信（県委託事業）

「認知症への正しい理解と備え」についてのリーフレットを作成し、市町、商工会、事業所等を中心に配布し、認知症に関する情報発信を行った。

配布先	配付部数
64か所	6,247部

### (3) 健康づくりチャレンジ企業への情報発信

兵庫県と締結した「健康づくり応援協定」に基づき、積極的に従業員や家族の健康づくりに取り組む「健康づくりチャレンジ企業」に対し、メールマガジンの定期発行（9回）や財団ホームページでの健康情報の提供を行った。

### (4) 親と子の健康づくりの普及推進（母子衛生研究会委託事業）

妊娠、出産、育児等に関する知識と実践の普及を図るため、初めて子どもを持つ夫婦を対象に、西宮市との共催により育児セミナーを開催した。

- ・開催回数・参加人数 4回 599組
- ・場所 なるお文化ホール

## II 疾病予防等の普及啓発

### 1 普及啓発活動の推進

#### (1) 広報の実施

健康づくりや疾病予防のための知識の向上、人間ドック等健康診断の受診促進を図るため、財団広報誌やホームページ等を活用した広報を行った。

また、県内の団体が発行する会報や機関誌等に、保健・医療情報及び日常生活における健康的な食生活に関する情報を寄稿し、疾病予防や健康づくりの普及・啓発を行った。

##### ① 広報誌「プレベ」の発行

- ・発行 年2回（9月、3月 各9,000部）
- ・配布先 行政機関、健診顧客、健康ひょうご21県民運動参画団体及び県民運動推進員、関連イベント参加者、神戸市営地下鉄各駅等

② 団体の会報、広報紙等への情報提供

・2団体 延べ4回掲載

③ ホームページによる情報発信

スマートフォンにも対応したホームページにより、人間ドックメニューの紹介や講演会等のイベント開催、健康コラムの掲載等、財団の事業内容や健康づくりに役立つ情報を発信した。

(2) がん予防の啓発

① がん征圧月間行事の実施

がん征圧月間(9月)の期間中、懸垂幕や医療機関等でのポスターの掲示、啓発資材の配布等により、広く県民に意識啓発を行った。

② 「がん・結核セミナー」・「がん・生活習慣病講演会」の開催

ア がんセミナー

開催日・場所	内 容	参加人数
9月26日(火) 神戸ポートピア ホテル	講演「生きる力～がん、ステージ4からの生還～」 フリーアナウンサー、元フジテレビアナウンサー 笠井 信輔 氏	278人

イ がん・生活習慣病講演会(兵庫県医師会と共催)

開催日・場所	内 容	参加人数
2月9日(金) 県医師会館	講演Ⅰ「健康長寿でいるためのコツ ーフレイルと認知症は予防できるー」 兵庫医科大学医学部 総合診療内科学 主任教授 新村 健 氏 講演Ⅱ「『身近ながん』あなたはどうする？ ～聞いて！知って！実践して！～」 兵庫県立がんセンター 院長 富永 正寛 氏	207人

③ がん征圧寄附金募集活動等による啓発

がん予防のための普及・啓発活動や、若手研究者へのがん研究助成の原資とするための寄附金を募るとともに、同活動を通じてがん検診の受診勧奨などの啓発活動を展開した。

件 数	金 額
277件	2,728,887円

④ がん検診啓発及びがん患者支援

ア 「ピンクリボンフェスティバル」に参画し、ちらしやポスター等の配布により、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さについて意識啓発を行った。

イ がん患者支援・がん検診啓発チャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」に協賛し、その活動を支援した。

実施日	会 場	内 容
6月10日(土)～11日(日)	神戸市みなとのもり公園	サバイバーウォーク
9月2日(土)～3日(日)	芦屋市川西体育館	がん予防普及啓発

### (3) 結核予防の啓発

#### ① 結核予防週間行事の実施

結核予防週間(9月24日～30日)の期間中、結核予防について広く県民に意識啓発を行った。

#### ア ポスター等による普及啓発

結核予防会が作成したポスターやパンフレット等(計13,750部)を婦人会、医療機関、地方公共団体等に配布した。

#### イ 懸垂幕の掲示等

健康財団荒田事務所に懸垂幕を掲示し、予防週間の周知を図った。

また、阪急神戸三宮駅のデジタルサイネージ広告に加え、財団HP、健康ひょうご21県民運動ポータルサイトを活用した啓発を行った。

#### ウ 結核セミナーの開催(がんセミナーと併催)

開催日・場所	内 容	参加人数
9月26日(火) 神戸ポートピアホテル	講演「結核と新型コロナウイルス —違うところと似ているところ—」 兵庫県保健医療部次長兼感染症等対策室長 田所 昌也 氏	278人

#### ② 複十字シール運動募金活動等による普及啓発

結核の征圧及びその他胸部疾患の予防を目的とした募金活動を通じ、結核等に理解を深める啓発活動を、関係団体の支援を得て実施した。

件 数	金 額
190件	1,410,081円

### (4) 疾病予防等に関する功労者の表彰

多年にわたり、公衆衛生の向上に資する事業の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体を表彰した。

#### ① がん予防功労者

氏 名	職 種	推薦団体
岸 清彦	医 師	西宮市医師会
篠部 信一郎	医 師	宝塚市医師会
西川 義規	医 師	姫路市医師会

② 結核予防功労者

氏名	職種	推薦団体
竹中 雅彦	医師	兵庫県宝塚健康福祉事務所

③ 健康づくり功労者

氏名	職種	推薦団体
朝田 真司	医師	尼崎市医師会
高見 佳生	歯科医師	兵庫県歯科医師会
埴岡 紀子	歯科衛生士	兵庫県中播磨健康福祉事務所
別府 浩章	一般	洲本市健康福祉部健康増進課

④ 母子保健功労者

氏名	職種	推薦団体
國廣 晴美	助産師	兵庫県助産師会
松尾 幸子	医師	神戸市須磨区医師会

(5) 臓器移植の推進

① いのちの勉強会の開催（県補助事業）

臓器移植医療に関する正しい知識の普及・啓発と、臓器移植の一層の定着・推進を図るため、講演を収録・DVD化し看護系学校（5校）へ貸出した。

テーマ「LIVING WILL」～臓器提供を考える～

② 臓器移植希望者への支援（県補助事業）

臓器移植希望者の経済的負担を軽減するため、希望者の組織適合検査に要した経費の一部を助成（54件 540,000円）した。

③ 骨髄移植及びさい帯血移植の普及推進

骨髄移植の普及を図るため、骨髄ドナー登録啓発資材をドナー登録会等で活用した。

(6) 献血の促進

献血の推進を図るため、啓発資材を献血会場等で活用した。

## 2 専門的研究の奨励

がん及び腎疾患の予防と診断・治療に役立つ専門的研究の進展に寄与するため、研究奨励賞を贈呈した。

### ① がん研究奨励賞（総額 250 万円）

氏名	所属	研究題目
中谷 尚子	神戸大学医学部附属病院	神経芽腫における GD2 発現調節メカニズムの解明を通じた抗 GD2 抗体の治療効果を増強させる新規治療法の開発
松本 咲耶	神戸大学医学部附属病院	B 細胞受容体レパトア解析を用いた造血幹細胞移植後の獲得免疫再構築の解明
山西 俊介	神戸大学大学院医学研究科	神経膠芽腫に対する Ror1 を標的とした新規治療法開発
山野 希	神戸大学大学院医学研究科	色素性乾皮症患者における紫外線誘発性皮膚癌若年発症抑制を目指すウェアラブル高精度紫外線分光光度計の開発

### ② 腎研究奨励賞（50 万円）

氏名	所属	研究題目
清水 真央	神戸大学医学部附属病院	ネフローゼモデルラットにおける五苓散の腎臓への作用とそのメカニズム
服部 悠斗	神戸市立医療センター中央市民病院	ロボット支援腎部分切除術の難易度を予測するスコアリングシステムの作成

### Ⅲ 健診・生活習慣等改善指導の実施及び調査研究の推進

#### 1 健診・検査の実施

##### (1) 施設健診

特定健康診査やがん検診をはじめ、学校保健安全法、労働安全衛生法等に基づき健康診断のほか、多様化する受診者ニーズに応じて人間ドック及び胃内視鏡体制を強化し、県民の生活習慣病の予防及び早期発見を支援した。

(実施団体数 2,027 団体)

健 診 種 別		令和 5 年度 (件)	令和 4 年度 (件)	対前年度比 (%)	
集 団 検 診	学 校 健 診	662	784	84.4	
	住 民 健 診	534	676	79.0	
	事業所健診	一般健康診断(就学・就職)	240	252	95.2
		定期健康診断等	15,612	15,748	99.1
	小 計	17,048	17,460	97.6	
人 間 ド ッ ク	1泊2日人間ドック	86	107	80.4	
	半日人間ドック	5,120	4,873	105.1	
	兵庫県2時間人間ドック	306	298	102.7	
	脳ドック [再掲]	(232)	(210)	110.5	
	P E T 検 診 [再掲]	(8)	(14)	57.1	
	胃内視鏡検査 [再掲]	(3,871)	(3,014)	128.4	
	乳腺超音波検査 [再掲]	(2,739)	(2,676)	102.4	
	口 腔 健 診 [再掲]	(64)	(68)	94.1	
	レディースドック [再掲]	(401)	(414)	96.9	
	全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診	8,149	8,107	100.5	
一 般 健 診	(7,746)	(7,749)	100.0		
一般健診＋付加健診	(403)	(358)	112.6		
小 計	13,661	13,385	102.1		
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	1,289	1,605	80.3		
合 計	31,998	32,450	98.6		

注 1)脳ドック～口腔健診は、人間ドックの各コースのオプション検査につき再掲。

注 2)レディースドック (再掲) は、女性専用日を利用した受診者数。

(2) 出張健診

市町や地元商工会議所・商工会との連携等により、事業所従業員や被扶養者をはじめ幅広い層を対象とした健診受診機会を提供するとともに、検査項目の追加などにより、質の高い健診を積極的に推進したほか、労働安全衛生法に基づくストレスチェックを健診時にあわせて実施した。

① 学校健診（実施校数 49校、2教育委員会）

健診種別	令和5年度(件)	令和4年度(件)	対前年度比(%)
結核検診	23,699	24,919	95.1
心臓検診	5,825	5,483	106.2
腎臓検診	15,046	15,094	99.7
診察・身体計測等	14,950	15,262	98.0
合計	59,520	60,758	98.0

② 住民健診（実施市町数 18市町）

健診種別	令和5年度(件)	令和4年度(件)	対前年度比(%)	
結核検診	63,551	64,021	99.3	
特定健康診査 (生活習慣病健診等を含む)	18,597	18,740	99.2	
心電図検査	(6,864)	(6,871)	99.9	
眼底検査	(5,668)	(6,051)	93.7	
貧血検査	(13,129)	(13,573)	96.7	
胃がん検診	21,548	22,737	94.8	
肺がん検診	60,270	60,640	99.4	
大腸がん検診	19,094	19,167	99.6	
子宮頸がん検診	12,923	13,166	98.2	
乳がん検診	視触診	1,095	1,195	91.6
	マンモグラフィ	8,739	9,056	96.5
前立腺がん検診	7,189	7,182	100.1	
骨粗鬆症検診	2,181	2,259	96.5	
肝炎検査	1,387	1,469	94.4	
腹部超音波検査	8,159	8,305	98.2	
合計	224,733	227,937	98.6	

③ 事業所健診（実施団体数 2,032 団体）

健診種別		令和5年度(件)	令和4年度(件)	対前年度比(%)
定期健康診断		109,291	107,846	101.3
特定健康診査		1,608	1,585	101.5
全国健康保険協会管掌 健康保険生活習慣病予防健診		25,073	28,190	88.9
ストレスチェック		44,923	46,766	96.1
特殊健康診断		20,951	19,931	105.1
がん・ 追加 検診等	胃がん検診	29,217	31,283	93.4
	肺がん検診	22,113	19,961	110.8
	大腸がん検診	61,455	67,669	90.8
	子宮頸がん検診	1,078	941	114.6
	乳がん検診(マンモグラフィ)	558	749	74.5
	腹部超音波検査	12,324	12,536	98.3
合計		328,591	337,457	97.4

(3) 一般診療

診療科目	令和5年度(件)	令和4年度(件)	対前年度比(%)
内科・外科・放射線科	673	690	97.5

(4) 先天性代謝異常検査（県委託事業）

検査種別	令和5年度(件)	令和4年度(件)	対前年度比(%)
代謝異常検査	22,800	23,930	95.3
TSH(クレチン症)検査	22,484	23,610	95.2

(5) 精度向上・危機管理への取り組み

① 健診精度の向上

ア 人材の育成・職員研修の実施

財団職員の資質の向上並びに正確な検査の実施と的確な判断能力の維持・向上を図るため、職員に対する研修会を実施した。

研修会名	回数	延参加人数
職員（全体）研修会・職種別分科会	2回	712人
医師研修会	1回	27人

## イ 精度管理委員会の開催

胸部、胃部、マンモグラフィ検診の読影精度及び心電図の記録・判定技術の向上を図るため、財団で読影・判定業務に従事する医師を対象に専門委員会を開催し、検診実施状況報告及び画像症例検討等を行った。

開催日	内 容	参加人数
12月14日	マンモグラフィ専門委員会	16人
2月1日	胃部エックス線画像専門委員会	19人
2月29日	胸部エックス線画像専門委員会	18人
1月25日	生理機能検査（心電図）専門委員会	6人
合 計		59人

## ウ 外部精度管理評価の維持

日本医師会等による外部精度管理調査を受審し、精度の維持・向上を図った。

### ② 危機管理体制の運用

受診者が安心して安全で良質な健診を受けられる環境を整えるため、リスクマネジメント推進会議等において、健診等に関する事故やヒヤリ・ハット事例を分析し、事故の未然防止・再発防止策を検討した。

名 称	内 容	開催回数
リスクマネジメント推進会議	・ 事故内容の分析 ・ 事故防止対策の検討・提案等	12回

### ③ 情報処理体制の適正な管理と強化

健診等情報処理システムの適正な管理を行うことにより、効率的な事務処理に努めるとともに、迅速・正確かつ品質の高いサービスの提供に努めた。

## (6) 計画的な車両・設備の整備

耐用年数等を考慮し策定した更新計画に基づく検診車及び医療機器等の更新整備により、健診精度の維持・向上を図った。

また、内視鏡検査室を2レーン体制に改修し、ニーズの高い胃内視鏡検査実施体制を強化した。

### 【主な整備内容】

・ 胃胸部併用デジタル検診車	1台
・ 超音波診断装置	1台
・ 健診用高速プリンタ	2台
・ 眼底カメラ	1台
・ 健診用補助車両	1台

## 2 保健指導の実施

### (1) 特定保健指導

特定健診の結果に基づき、生活習慣を改善し健康の保持に努める必要があるとされた者に対し、生活習慣改善のための行動目標、行動計画を設定し、健康維持のためのセルフケアができるよう継続的に支援する特定保健指導を、健診当日・事業所訪問・遠隔面接で実施した。

支援別実施実人数

	令和5年度	令和4年度	対前年度比
動機付け支援	656人	460人	142.6%
積極的支援	573人	514人	111.5%
合計	1,229人	974人	126.2%

※当該年度中に指導を開始した実人数を記載

### (2) 一般保健指導

人間ドックの受診者に対し、健診当日に医師の指示に基づき生活習慣改善の必要性などについて保健指導を実施するとともに、生活習慣病重症化ハイリスク者や精密検査対象者を受療行動に移させるために受診勧奨等きめ細かなアドバイスを行い、更に、健康相談を希望する者には個別健康相談を実施した。

また、保健指導のWEB予約を財団ホームページから受付し、健診結果の見方の説明や健診結果改善のための運動や食生活などの実践的な指導を個別面接や遠隔面接で行った。

	令和5年度	令和4年度	対前年度比
実施実人数	1,588人	1,470人	108.0%

## 3 健康増進施設の運営

### (1) 五色県民健康村健康道場の運営

絶食・低カロリー食療法、性格分析、丹田呼吸法、カウンセリング等を通じて、生活習慣病の予防・改善を図り、県民のこころと身体健康づくりを支援した。

ホームページの活用やメール、インスタグラム及びフェイスブック等による広報を行ったほか、心身医学の講座やリピーター割引クーポン券の発行、年末・年始営業の実施により、利用者の確保に努めた。

#### ① 絶食・低カロリー食療法コース（入所）

3泊4日から、7日間、11日間、16日間、20日間コースなど、入所者の希望に応じた日数設定を行い、個々のニーズや健康状態に合わせたサービスを提供した。

	令和5年度	令和4年度	対前年度比
利用者数	587人	543人	108.1%
延宿泊者数	3,325人	3,103人	107.2%
平均宿泊日数	5.7日	5.7日	100.0%

## ② 利用促進施策の実施

### ア 健康医学としての心身医学の講義

インターネットや道場内で講義を開講し、「心身医学」を学ぶ機会を提供した。

### イ リピーター割引クーポン券の発行

次回利用時に30%割引となるクーポン券を1人につき2枚発行した。

- ・発行枚数 1,174枚
- ・利用枚数 332枚

### ウ 年末・年始営業

- ・営業日 12月29日～翌年1月3日
- ・期間中の利用者数

区 分	令和5年度	令和4年度	前年度比
入所者数	23人	25人	92.0%
延宿泊者数	159人	145人	109.7%

※延宿泊者数は、年末年始前後の期間に宿泊した日数を含む。

## 4 調査研究事業の推進

### (1) 疾病罹患状況等の分析

健診事業及び精密検査実施状況の追跡調査により得られたデータを集計し、がん検診等の実施状況、発見がんの状況等を事業年報により発信した。

- ・発行部数 200部
- ・配布先 行政機関、医療関係団体他

### (2) がん登録事業（県委託事業）

#### ① がん罹患情報等の審査・整理・登録

県内医療機関等から届出されたがん罹患情報等の審査・整理・登録を行い、兵庫県のがん対策の企画立案及び評価の基礎資料として活用を図った。

#### 【全国がん登録】

- ・届出(登録)件数 68,909件
- ・届出医療機関数 199機関
- ・住所異動確認調査登録件数 1,182件

## ② 全国がん登録実務者研修会の開催

県内の病院及び指定診療所において全国がん登録業務に従事する者を対象として全国がん登録業務の円滑な推進を目的に「全国がん登録実務者研修会」をオンラインにより開催した。

開催日・場所	内 容	参加人数
9月21日(木) ～10月31日(火) オンライン配信	「令和5年度 全国がん登録実務者研修会」 ・講演「全国がん登録の届出実務とデータ分析」 国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 国際政策研究部長 松田 智大 氏	視聴回数 306回

## IV ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金の管理

ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金の口座を適切に管理し、兵庫県が開催した配分委員会の決定に基づき医療機関に配分した。(令和5年度で事業終了)

### 【寄附金の受入・配分状況】

- ・ 令和5年度期首残高 65,055,937円
- ・ 寄附件数・総額 20件 39,552円
- ・ 配分先・金額(88機関) 64,969,759円  
(振込手数料等 125,730円)
- ・ 基金残額 0円